

中国政治経済史論

毛沢東時代 (1949～1976)

習政権の政策ブレイン・清華大学国情研究院院長 **胡鞍鋼** 著

「功績七分、誤り三分」といわれる毛沢東時代はいかにして生まれたのか。膨大な資料とデータを駆使して新中国建国から第一次五カ年計画、大躍進、人民公社、文化大革命へ連なる政治史と世界の最貧国から大国へ至る経済史を立体的に描き、毛沢東時代の功罪と「中国近代化への道」を鋭く分析した渾身の大作。

共産党指導者層に反響を巻き起こした「話題の書」の邦訳版、ついに出版！

本書は1949年の新中国成立から1976年の「文化大革命」終了まで、すなわち「毛沢東時代」の政治・経済の流れを、「中国の特色ある社会主義近代化建設」の歩みに焦点をあてて分析したものである。

経済的に立ち遅れた大国がいかにして工業化、都市化、近代化を成し遂げたのか。幾多の社会変革を経て、今日につながる「富民強国」という目標を実現してきたのか。本書は、国内外の膨大な史料とデータを駆使し、読者のそうした問題意識に答えるとともに、「毛沢東時代」の重大な歴史的事件や政治・経済問題についても研究・評価をおこなっている。

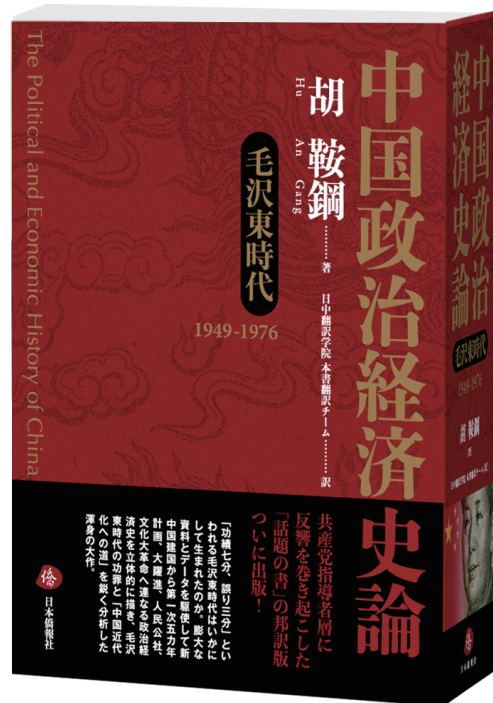
歴史的な視座と国際的な比較から中国の社会主義発展の道筋を詳述した本書は、現代中国を理解する上でも欠かせない視野を与えてくれるだろう。

【著者紹介】 胡鞍鋼 (こあんこう)

1953年生まれ。清華大学公共管理学院教授、同大学国情研究院院長。中国共産党第18回党大会代表。国家「第11次五カ年計画」「第12次五カ年計画」「第13次五カ年計画」専門家委員会委員、中国経済50人フォーラムメンバー。自身が主導し創設した清華大学国情研究院は、国内一流の国家政策決定シンクタンクである。国情研究に従事して30年来、出版した国情研究に関する専門書・共同著書・編著・外国語著書は100以上に及ぶ。

【訳者紹介】 日中翻訳学院 本書翻訳チーム

日中翻訳学院 (<http://fanyi.duan.jp/>) は、日本橋報社が2008年9月に設立した、よりハイレベルな日本語・中国語人材を育成するための出版翻訳プロ養成スクール。



予告

中国政治経済史論—第二弾 **鄧小平時代**
「改革開放」40周年の節目にあたり2018年出版予定

ご注文は、全国の書店、アマゾンなどをご利用いただけます。トールン 日販 その他 取次コード：5752

 <p>中国政治経済史論 毛沢東時代 (1949～1976) ISBN 978-4-86185-221-3 発行日：2017年12月26日 A5判 712頁(上製本) 定価：本体16000円+税</p> 	<p>ご注文 / 番線印</p> <p>注文部数、住所 干、氏名、電話番号をご記入ください</p>
<p>送信 FAX 03-5956-2809</p>	<p>注文部数、住所 干、氏名、電話番号をご記入ください</p>